

# 調査結果の概要

<h3>1. 日常生活圏について</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>買物、病院については、約8割が1市3町内での行動</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「通勤・通学」は約5割が1市3町内である。</li> <li>・「映画・音楽などの娯楽」「身近な行楽地」は、1市3町外への依存度が高い。</li> <li>・買物、外食、病院といった生活行動のほとんどが深谷市で6割以上を占める。</li> </ul> <p>&lt;年齢別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「映画・音楽などの娯楽」は、年齢層が高いほど1市3町内での行動が多い傾向にある。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食料品や日用雑貨の買物」「外食」については、居住市町内での行動が比較的多いが、「贈答品・耐久消費財の購入」では、深谷市での行動が多く、岡部町、川本町、花園町（以下「3町」という。）でも4割から5割程度は深谷市での行動となっている。</li> <li>・「スポーツ・レクリエーション活動」については、深谷市では5割以上が居住市町内での行動であるのに対し、3町では3割程度と低くなっている。</li> </ul>	<h3>2. 行政サービスの満足度について</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>『満足』の第1位は「ごみ・公害などの環境対策」 一方、『不満』は「商店街の整備」</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どちらでもない」との回答が相対的に多い。</li> <li>・『満足派』（「満足」＋「やや満足」）では、「ごみ・公害などの環境対策」（40.3%）が最も多く、次いで「道路網の整備」（37.3%）となっている。</li> <li>・『不満派』（「不満」＋「やや不満」）では、「商店街の整備」で5割以上が不満を感じており、次いで「駅周辺の整備」（39.8%）となっている。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1市3町で共通して『満足派』が多い項目は、「道路網の整備」である。</li> <li>・『満足派』の第1位は、深谷市が「ごみ・公害などの環境対策」、岡部町が「公共交通機関の充実」、川本町が「上・下水道の整備」、花園町が「道路網の整備」である。</li> <li>・『満足派』と『不満派』で比較すると、深谷市では、全29項目中22項目で『満足派』が上回っており、全体的にみても満足度の割合が高いといえる。一方、岡部町では『満足派』が上回る項目が3つと少なく、川本町では12項目、花園町では10項目が上回るといった状況であり、3町では相対的に『不満派』の割合が高いといえる。</li> </ul>	<h3>3. 施策の重要度について</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「医療機関・医療体制の整備」、 「ごみ・公害などの環境対策」が重要</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療機関・医療体制の整備」が最も重要度の高い項目となったが、行政サービスの満足度では、『不満』とする割合が約4割と高く（第3位）住民ニーズの高い施策であるといえる。</li> </ul> <p>&lt;年齢別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10・20代では、他の年代と比較して「駅周辺の整備」に対する重要度が高く、30・40代では「医療機関・医療体制の整備」が、50～70歳以上では「高齢者福祉の充実」に対する重要度が高くなっている。</li> <li>・「医療機関・医療体制の整備」「ごみ・公害などの環境対策」については、10～50代の幅広い年代で重要度が高い項目となっている。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1市3町いずれも「医療機関・医療体制の整備」の割合が最も多く重要度の高い項目といえる。</li> <li>・市町間では、岡部町が「駅周辺の整備」「教育施設や教育環境の整備」の項目で比較的高い割合となっている。</li> </ul>
<h3>4. 合併効果への期待について</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「経費の節減」「効率的なまちづくり」への期待が高い</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ムダがなくなり経費が節減できる」（44.6%）「ムダな投資をなくし効率的なまちづくりができる」（44.0%）が4割を超え、次いで「生活の利便性が向上する」（36.2%）となっている。</li> </ul> <p>&lt;年齢別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力あるまちづくりが期待できる」については、概ね年齢が高くなるほど割合は大きくなっている。</li> <li>・「ムダな投資をなくし効率的なまちづくりができる」については、10代を除く全ての年齢層で4割を超えており、幅広い年代層で期待されている項目であるといえる。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての市町で行政の効率化、効率的なまちづくりへの期待が多く、合併効果としては効率化に大きな期待が寄せられているといえる。</li> <li>・「ムダがなくなり経費が節減できる」「ムダな投資をなくし効率的なまちづくりができる」が全ての市町で4割を超えている。</li> </ul>	<h3>5. 合併への不安点について</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「規模の拡大により住民意見が届きにくくならないか」 との不安が約4割</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安点として3割以上となった項目が全9項目中6項目あることから、住民の不安点にはばらつきがあるものといえる。</li> <li>・4割を超える項目は、「住民の意見が届きにくくならないか」のみとなっている。</li> </ul> <p>&lt;年齢別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10代では「一部の地域が発展しその他の地域が取り残されないか」、20・30代では「公共料金が高くなり負担が増大しないか」、40代以上では「住民の意見が届きにくくならないか」が最も多い項目となっている。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深谷市では「公共投資の増大により財政が悪化しないか」が約4割と、3町が約2割であるのに対し多く増えている一方で、「一部の地域だけが発展し、その他の地域が取り残されないか」では深谷市が2割強であるのに対し、3町は約5割と多くなっている。</li> <li>・相対的に、深谷市では財政悪化や住民負担の増加に対する不安が多い傾向にあり、3町では、地域格差や役所までの距離に対する不安が多いといった傾向があるといえる。</li> </ul>	<h3>6. 合併後のまちづくりについて</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>健康・医療の充実とともに、福祉のまちづくりへの期待が大きい</p> </div> <p>&lt;全体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後の将来イメージとしては、「健康づくりのまち」（38.5%）「高齢者や障害者にやさしい福祉のまち」（35.1%）と健康・福祉を重視したまちづくりへの期待が大きい。また、「生活環境が整ったまち」（35.8%）などの生活基盤の充実への期待も多くなる。</li> <li>・前項の3項目に加え、「交通事故や犯罪のない安全なまち」（32.3%）の4項目が3割を超え、住民がイメージする合併後のまちづくりの主要項目であるといえる。</li> </ul> <p>&lt;年齢別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者や障害者にやさしい福祉のまち」では、概ね年齢層が高くなるほど多くなっており、70歳以上では約5割となっている。</li> <li>・「保健・医療が充実した健康づくりのまち」では、30代以上で約4割であり、幅広い年代においてイメージされる項目であるといえる。</li> </ul> <p>&lt;居住市町別&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住市町別では大きな傾向の差はなく、全体の傾向とほぼ同様となっている。</li> </ul>